

令和7年度 第2回学校運営協議会（記録）

期 日：令和8年2月19日（木）

10：00～11：10

場 所：会議室

欠席者：B委員、F委員

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 令和7年学校評価アンケートについて・・・資料のとおり

【質問、意見、発言等】

<C委員>

- ・基礎的学力の定着の部分で低いという評価が出ていますがテストの点数が何点以上の方が何割以上いると、学校的には学力の定着ができているという基準はあるか。

<学校から>

- ・教科学習は一学年4つのグループに分かれて学習しており到達する目標がある。目標に向けて学習を積み重ねている。学年の最後にまとめて実力テストを行って学習の評価としているところである。明確な基準はないが数年前と比べると定着の度合いが難しいと感じている教職員もいる。さらに個々に応じていかなければいけないなという状況である。

<C委員>

- ・先生がチェンジした場合に評価がぶれることが発生すると思うので、どの先生が担当されても評価がぶれないような工夫が必要だと思う。

(2) 令和7年度 具体的方策に関する数値目標・・・資料のとおり

【質問、意見、発言等】

<C委員>

- ・毎年、歯科検診受診の数値をみているが、今年の1年生の受診率が低いと感じた。昨年の1年生が2年生に上がって、85.7%から81.8%に落ちているので口腔検査は障がいがあるとなかなか難しいと思うので歯医者さんで診てもらうことが大事と思う。

<D委員>

- ・アンケートから寄宿舎生活の満足度は低いと感じた。集団生活の中でお互いの気持ちを分かり合うのはどうしても難しさもあるが、寄宿舎は生活の拠点となるので落ち着いて楽しく生活できれば学習にも身が入るのかなと思う。寄宿舎生活を充実させていくことが大事な視点かなと感じた。

(3) 令和7年度 卒業生進路状況・・・資料のとおり

【質問、意見、発言等】

< A委員 >

- ・3年間の学校生活を通じて、生徒たちは成長したものと思われる。社会に出る段階で、対外活動のところでも自信をつけながら社会に出ているんだなと感じたところである。ここまでの先生方の指導、本当にありがとうございます。

< C委員 >

- ・B型に就労希望の生徒の出身地を見ると地元に戻ってB型を利用するのか。本来は、A型とか一般就労は厳しいかもしれないけど、A型くらいのレベルの力はあるのに地域に事業所がないためにB型に進むこともあるのか。

< 学校より >

- ・A型に進む力があるけれども、A型事業所がないからB型に進む訳ではない。体調面に波があったり、精神面に波があったり、一般企業で安定して働く力が今の段階で難しく、B型からステップを踏んで安定を図りながら一般就労を目指していった方がいいと考えられる生徒である。

< C委員 >

- ・事業所がないから卒業した後どこかで働かなければいけなくなったときに、本当はA型ぐらいのレベルがあるのに、事業所がないからB型ということではなくて安心した。スモールステップで一般就労を目指すということで確認できた。

< D委員 >

- ・一般就労する方は、ほとんどは自宅からの通勤が多いのか。

< 学校より >

- ・今年度、一般就労する生徒に関しては、ご自宅から通うことになっている。

(4) 特別支援教育センター業務実施状況について・・・資料のとおり

【質問・意見は特になし】

(5) いじめに関する調査集計結果一覧について・・・資料のとおり

< 学校より 補足説明 >

- ・寄宿舎生活の中で、生徒たちの関わりの状況についていじめアンケートに回答する生徒もいた。いじめアンケートに含まれたことを踏まえて、いじめ対策委員会に寄宿舎の職員も入れて状況把握をしたり、未然防止の対策をしたりして連携を強化していく予定である。

【質問、意見、発言等】

< C委員 >

- ・P12の(10)にあるその他の項目の意味は何か。

<学校より>

- ・聴き取りをしていくと最終的に「無視」だったり、「からかい」に分類されるものだった。今回は重大事態に分類されるものはなかった。

(6) 令和8年度学校経営方針(案)について・・・資料のとおり

<学校より補足説明>

- ・昨年までは、項目が8までだったが、大きな枠として9つ目を追加している。学校の在り方についての検討が加わっている。長年の取り組みを再確認し、生徒の多様化や社会の変化に対応していくこと、もう一つは、キャリア教育と進路実現の強化を掲げている。
- ・学校の在り方について今年度は、情報収集しながら校内での検討をはじめた段階である。次年度にはそれを進め、多くの意見を賜り、ご協力をお願いし、素案をもとに意見をいただきたいと考えている。ここの部分が次年度、追加した大きな部分である。

【質問、意見、発言等】

<D委員>

- ・県立学校で高校の再編が話題になっているが、この学校では影響はないか。

<学校より>

- ・県立学校であるので、今後どうしていくのか考えていくが学校自体の枠組み、主に統合したりするところが話題の中心となる。本校としては教育システムを見直していくということをやリなさいということでもない。今の時代の教育的ニーズに合っているのかという意見もいただいている。色々な専門学科があるが、このまま続けていくのかという意見をいただいたりしている。少子化の中でこのままでは先々、難しくなる場面も出てくる。再度、確認をしながら新しい形を模索していきたい。

(7) その他

【質問、意見、発言等】

<E委員>

- ・週に一回、必ず携帯に知らない番号から電話がかかってくる。特殊詐欺や闇バイトなど出てくるが、みんな携帯を持っているので、子供たちを守るために指導はしているものか。

<学校より>

- ・ほとんどの生徒がスマートフォンを所持していて使いこなしている。本校では情報モラル講座を行い、年度初めに警察の方に来ていただいて危険性に触れていただいている。学年ごとにマモル学習という集会の中で様々な携帯の使い方に触れたりしている。
- ・学校設定教科(コミュニケーション・情報)でも危険性を調べ、まとめをして発表会

をする学習をし、闇バイトや詐欺のような題材を扱っている。いざ、危険に直面した時にとても危ないなど判断力など注意していかなければならないと感じている。

4 委員から提言

<A委員>

いつ来校しても校舎がきれいでとても行き届いているなど感じる。今日は、生徒に会う機会はあったが、文化祭で会ったとき朗らかな子供が多いなという印象を受けている。校長先生をはじめ、ご指導の賜物だと思っている。2年間、委員を務めさせていただきましたが今年度で勤務終了となるので後任に引き継いでいくことになる。どうぞよろしくお願いしたい。

<C委員>

先生方のきめ細やかなご指導の在り方というものをこのレポートから感じ取ることができてこの学校に通う生徒は幸せだなと感じた。引き続き、きめ細やかな指導をお願いしたいことと、峰南高等支援学校といったら一般就労という目標で入学してくる生徒が多いと思うので、社会性や適応力をしっかり指導していただきたい。

<D委員>

盛岡峰南高等支援学校としての学校の意義を生徒の話聞いて思ったが、就労に向けた学校教育がきちんと伝わり、教育相談や見学で理解したうえで希望者が多くなっていると感じている。私立学校でも多く生徒を受け入れる制度もあるが、峰南支援学校の一般就労に向けた教育がきちんと中学校にも広く伝わっていると思った。ぜひ、就労に向けた指導を続けてほしいと思う。設備が27年ということで改善がどうしても必要になるかもしれないですが頑張してほしいと願っている。

<E委員>

失敗するというのを色々経験してきていると思うが、卒業後の拠り所はこの学校にあるのか。拠り所になると頼もしいし、学校に感謝すると思う。社会に出て厳しい評価がされる場面が増えると思うのでその時にフォローできる体制があるといいなという気がする。

(学校より)

拠り所として、進路の業務の中にアフターフォローというものがある。基本的に卒業後一年は地域の支援する機関の方と一緒に実際に職場を訪問して状況を確認したり、相談したりして、1年間に4回ほど伺ってお話をさせていただいてる。その後は、地域の支援機関が中心となって支援しているが、学校は何かあれば対応している。今年度も卒業後かなり経過している卒業生の対応もしており、拠り所となっている。

<校長より>

本日は皆様にお集まりいただき、ありがとうございました。お陰様で生徒も元気に過ごし、本校の授業や諸活動など概ね順調に進み、最後のまとめの段階に入っております。本

日、委員の皆様から賜りました貴重なご意見を来年度の学校運営に生かして参りたいと思います。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。

5 閉会